

令和5年度

山梨県公立小中学校

教育課程実施状況調査結果の概要

山梨県教育委員会

令和5年度 山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査 結果の概要

山梨県総合教育センター

1 調査の目的

小学校及び中学校における学習指導要領に基づく教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の実現状況を調査することで、指導上の課題を明らかにして、今後の学校における学習指導の改善に資する。

2 調査の対象等

対象学年	校数	受検児童生徒数	調査教科	出題範囲
小学校第6学年	16校	588人	社会	小学校第5学年の学習内容から出題
		585人	理科	
中学校第3学年	9校	557人	社会	中学校第2学年の学習内容から出題
		556人	理科	

※該当学年において、児童生徒数の約1割になるよう、無作為抽出した。

3 調査の日時

区分	小学校	中学校
実施期間	令和5年4月17日（月）から5月12日（金）までの期間 学校ごと実施	
調査教科 (実施時間)	社会・理科（各40分）	社会・理科（各45分）

4 各教科の主な結果

校種・学年・教科	設問数(問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県－全国 (ポイント)
小・6・社会	28	59.4	65.4	-6.0
小・6・理科	30	56.9	61.1	-4.2
中・3・社会	28	53.3	54.5	-1.2
中・3・理科	32	47.4	48.6	-1.2

5 結果の概要

小学校社会

概念的知識や地形図や資料の読み取り等の技能の定着に課題がみられる。

小学校理科

科学的な言葉の定着や既習の知識を活用した記述問題に課題がみられる。

中学校社会

社会的事象の意味や背景の理解及び表現することに課題がみられる。

中学校理科

複数の情報から考察を導く問題など、知識を活用することに課題がみられる。

6 授業改善への取組

①結果分析・公表

- ・学力向上フォーラム（8月21日実施）

調査の分析結果を公表し、本県児童生徒の学力調査における結果と課題を共有する。

- ・授業改善・充実に向けた説明会Ⅱ～各種学力調査の結果を踏まえた授業づくりを目指して～（8月29日実施）

小中学校の教諭等に向け、授業改善・充実に向けた説明会を実施した。「授業改善指導資料」を配付し授業改善への具体例を示す。

②研修会・学校訪問

- ・分析結果を反映させた研修や学校訪問による指導等を行う。学校訪問の際には、授業観察や研究会での様子を踏まえ、適切な指導を行う。

③課題のある学習内容について「ピックアップ問題」を作成、配信

- ・各学校は、「ピックアップ問題」を用いて、調査該当学年を含め全校体制で授業改善や個別の指導に生かす。

令和5年度 教育課程実施状況調査結果の分析 小学校第6学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
588人	28問	59.4	65.4	-6.0

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土の自然などの様子	54.9	61.4	-6.5
	農業や水産業	54.3	60.1	-5.8
	工業生産	62.1	68.5	-6.4
	産業と情報の関わり	81.6	85.2	-3.6
	国土の自然環境と国民生活	46.1	53.7	-7.6
観点	知識・技能	57.8	64.8	-7.0
	思考・判断・表現	62.7	66.7	-4.0
	主体的に学習に取り組む態度	55.8	59.6	-3.8
解答形式	選択式	61.0	66.2	-5.2
	短答式	52.9	61.5	-8.6
	記述式	62.8	68.6	-5.8

設問別正答率													
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差 (ポイント)
		知	思	態	国土	農水	工業	情報					
1	選択	◎			◎					世界中の国土	38.1	38.2	-0.1
2	選択	◎			◎						72.6	73.5	-0.9
3	記述		◎	◎	◎						50.2	57.2	-7.0
4	選択	◎			◎					日本の国土と人々の暮らし	44.6	64.3	-19.7
5	選択	◎		◎	◎						47.1	52.7	-5.6
6	短答	◎			◎						76.7	82.7	-6.0

7	短答	◎				◎				日本の農業	品種改良について理解している。	20.7	28.1	-7.4
8	選択		◎	◎		◎					農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。	90.6	93.1	-2.5
9	選択	◎				◎				日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	57.3	73.0	-15.7
10	選択		◎			◎					さいばい漁業の利点について、資料をもとに考えている。	59.2	63.6	-4.4
11	短答	◎				◎				日本の食料生産	農産物の生産額の割合についてグラフにまとめている。	56.5	58.9	-2.4
12	選択	◎				◎					日本の主な食料の自給率について理解している。	42.3	49.4	-7.1
13	選択		◎			◎					輸入などの外国との関わりにおける課題について考えている。	62.8	67.0	-4.2
14	選択		◎	◎		◎					地産地消の取り組みについて、複数の資料をもとに判断している。	44.7	47.3	-2.6
15	選択	◎				◎				自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解している。	87.4	93.9	-6.5
16	記述		◎	◎		◎					自動車工場を支える関連工場の役割について、資料をもとに考え、表現している。	75.5	79.9	-4.4
17	選択	◎				◎					自動車の部品を再利用する目的について理解している。	77.2	87.1	-9.9
18	選択	◎				◎				日本の工業生産	日本の主な工業地帯・工業地域について理解している。	44.0	47.1	-3.1
19	選択	◎		◎		◎					さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。	52.4	51.8	0.6
20	選択	◎				◎					日本の主な輸出品・輸入品について理解している。	50.3	52.4	-2.1
21	短答	◎				◎					中小工場について理解している。	48.0	67.4	-19.4

22	選択	◎							◎	情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.8	95.1	-5.3
23	選択		◎						◎		産業における情報活用の現状について考えている。	67.7	67.7	0.0
24	短答	◎							◎		情報通信機器の利用について、資料を読み取っている。	85.5	88.6	-3.1
25	選択		◎						◎		情報の発信と受信の注意点について考えている。	83.5	89.3	-5.8
26	選択	◎							◎	自然環境と国民生活	森林を守るための間伐について理解している。	78.6	82.7	-4.1
27	選択		◎	◎					◎		自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることについて、資料をもとに考えている。	29.9	34.9	-5.0
28	短答	◎							◎		公害について理解している。	29.8	43.5	-13.7

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子 (農水)農業や水産業 (工業)工業生産

(情報)産業と情報との関わり (環境)国土の自然環境と国民生活

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
8	90.6	93.1	選択	-2.5
問題の内容	日本の農業			
出題のねらい	農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
19	52.4	51.8	選択	0.6
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	67.7	67.7	選択	0.0
問題の内容	情報を生かした産業			
出題のねらい	産業における情報活用の現状について考えている。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
4	44.6	64.3	選択	-19.7
問題の内容	日本の国土と人々のくらし			
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解している。			
授業改善の手立て	<p>日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。</p> <p>※第4学年「県内の伝統や文化、先人の働き」や第6学年「我が国の歴史上の主な事象」の内容の取り扱いで世界遺産や日本遺産を取り上げることが明記されていることを踏まえ、系統的に教材を選ぶという視点も考えられる。</p>			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
9	57.3	73.0	選択	-15.7
問題の内容	日本の水産業			
出題のねらい	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	<p>日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」「なぜ、〇〇では水産業がさかんなのか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の食料生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。</p>			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
21	48.0	67.4	短答	-19.4
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	中小工場について理解している。			
授業改善の手立て	<p>日本の工業生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。</p> <p>※第5学年内容(3)ア(イ)に関連した単元で、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解した上で、日本の中小工場について再考する場面を設定することも考えられる。</p>			

令和5年度 教育課程実施状況調査結果の分析 小学校第6学年・理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
585人	30問	56.9	61.1	-4.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	物質・エネルギー	50.8	55.0	-4.2
	生命・地球	59.6	63.8	-4.2
観点	知識・技能	62.9	67.1	-4.2
	思考・判断・表現	51.0	55.2	-4.2
	主体的に学習に取り組む態度	54.7	58.7	-4.0
解答形式	選択式	62.3	66.6	-4.3
	短答式	54.1	58.2	-4.1
	記述式	39.0	42.8	-3.8

設問別正答率						問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点			領域					
		知	思	態	物工 生命・地球					
1	選択	◎			◎	天気の変化	春の頃の日本付近では、雲がおよそ西から東へ動くことを理解している。	50.6	63.9	-13.3
2	選択		◎		◎		雲の動きと天気の変化の関係について、判断するために必要な情報を指摘できる。	43.9	47.8	-3.9
3	短答	◎			◎		台風について理解している。	79.8	84.1	-4.3
4	選択		◎	◎	◎		雨や風のようなすの変化と雲画像から、住んでいる地域を指摘できる。	87.2	89.0	-1.8
5	短答	◎			◎	魚のたんじょう	メダカの雌雄を区別し、メダカにたまごをうませるためには、おすとめすが必要であることを理解している。	82.6	87.9	-5.3
6	選択	◎			◎		メダカのたまごの中の変化のようすを理解している。	86.2	89.4	-3.2
7	選択	◎			◎		孵化したばかりの子メダカの育ち方を理解している。	86.7	87.0	-0.3

8	短答	◎				◎	人のたんじょう	人の受精卵について理解している。	74.5	76.5	-2.0
9	選択	◎				◎		母体の中での胎児の成長のしかたや育つ期間を理解している。	86.8	92.2	-5.4
10	短答	◎				◎	植物の花のつくりと実	受粉について理解している。	72.3	78.3	-6.0
11	短答		◎			◎		タンポポの花のつくりから、アサガオと共通するつくりを推測できる。	14.0	16.6	-2.6
12	選択		◎			◎		アサガオとタンポポの花のつくりの共通点を指摘できる。	60.0	64.9	-4.9
13	短答	◎				◎	流れる水のはたらき	運搬のはたらきについて理解している。	79.8	80.6	-0.8
14	短答		◎	◎		◎		川原の石の大きさや形について、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	69.2	76.3	-7.1
15	選択		◎			◎		川の曲がったところにおける侵食のはたらきについて理解し、実際に行われている防災の工夫に適用できる。	51.5	58.8	-7.3
16	記述		◎	◎	◎		物のとけ方	実験における条件制御の誤りを指摘し、説明できる。	52.5	53.1	-0.6
17	選択		◎		◎			グラフを読み、食塩とミョウバンの水へのとけ方について指摘できる。	77.1	80.5	-3.4
18	選択		◎		◎			水にとけた食塩とミョウバンを取り出す方法について指摘できる。	32.6	35.5	-2.9
19	短答	◎				◎	けんび鏡の使い方	スライドガラスについて理解している。	23.4	26.1	-2.7
20	選択	◎				◎		顕微鏡の使い方を身に付けている。	56.4	58.1	-1.7
21	短答	◎				◎		顕微鏡の倍率の求め方を理解している。	38.8	36.2	2.6

22	選択	◎		◎	電流のはたらき	電流の流れる向きと電磁石の極の関係について理解している。	65.0	67.4	-2.4
23	選択		◎	◎		電磁石のはたらきについて調べるための対照実験を構想できる。	69.4	81.7	-12.3
24	記述		◎	◎		◎	電磁石の性質を実際に利用されているものに適用し、説明できる。	21.0	29.3
25	短答	◎		◎	ふりこのきまり	ふりこの1往復する時間の求め方を身に付けている。	14.2	14.2	0.0
26	選択		◎	◎		ふりこの1往復する時間について、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	56.8	60.5	-3.7
27	選択		◎	◎		ふりこの実験における条件制御の誤りを指摘できる。	68.5	72.4	-3.9
28	短答	◎		◎	植物の発芽と成長	でんぷんについて理解している。	46.3	63.9	-17.6
29	選択		◎	◎		どんぐりの養分について仮説を立て、問題を解決する実験の方法を構想し、指摘できる。	17.6	16.0	1.6
30	記述		◎	◎		◎	植物の成長と日光の関係について実際の植生に適用し、説明できる。	43.6	46.0

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(物工)物質・エネルギー (生命・地球)生命・地球

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
7	86.7	87.0	選択	-0.3
問題の内容	魚のたんじょう			
出題のねらい	孵化したばかりの子メダカの育ち方を理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
4	87.2	89.0	選択	-1.8
問題の内容	天気の変化			
出題のねらい	雨や風のようなすの変化と雲画像から、住んでいる地域を指摘できる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
13	79.8	80.6	短答	-0.8
問題の内容	流れる水のはたらき			
出題のねらい	運搬のはたらきについて理解している。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
28	46.3	63.9	短答	-17.6
問題の内容	植物の発芽と成長			
出題のねらい	でんぷんについて理解している。			
授業改善の手立て	発芽と種子の養分との関係について見いだした問題を解決するために、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、実験を行い、植物は種子の中の養分を基にして発芽することを捉えるようにする。また、複数の対象(植物)について調べ、調べたことを関係付けることができるようにする。1人1台端末を活用し、撮影した映像やインターネットの情報等を共有し、実際に調べたことを整理しながら、科学的な言葉についての理解を図っていくことが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	69.4	81.7	選択	-12.3
問題の内容	電流のはたらき			
出題のねらい	電磁石のはたらきについて調べるための対照実験を構想できる。			
授業改善の手立て	問題解決の過程の中で、学年を通して育成を目指す問題解決の力に着目する。「差異点や共通点を基に、問題を見いだす力」「既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力」「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力」「より妥当な考えをつくり出す力」の中で「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力」を育成する手立てとして、実験計画の立案をクラウド上で共有し、それらを比較する中で他者の考えを受け、制御すべき要因と制御しない要因を区別し、計画を検討する学習活動が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
24	21.0	29.3	記述	-8.3
問題の内容	電流のはたらき			
出題のねらい	電磁石の性質を実際に利用されているものに適用し、説明できる。			
授業改善の手立て	問題解決を通して習得した知識と、日常生活との関連を考える場面を設定する。例えば、生活の中で電磁石の性質を利用したものについて調べ、まとめたものをクラウド上で共有し、学級全体で閲覧することができるようにしておく。そのことで、電磁石はコイルに電流が流れている間だけ磁石の性質をもつことなど、電磁石の性質についての理解を図っていくことが考えられる。			

令和5年度 教育課程実施状況調査結果の分析 中学校第3学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
557人	28問	53.3	54.5	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	55.7	55.9	-0.2
	歴史	50.6	52.8	-2.2
観点	知識・技能	59.6	60.9	-1.3
	思考・判断・表現	43.7	44.5	-0.8
	主体的に学習に取り組む態度	44.5	46.5	-2.0
解答形式	選択式	58.2	59.0	-0.8
	短答式	43.7	45.7	-2.0
	記述式	33.3	35.5	-2.2

設問別正答率											
通し 番号	解答 形式	観点			領域		問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差 (ポイント)
		知	思	態	地	歴					
1	選択	◎			◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	71.6	71.3	0.3
2	選択		◎		◎			日本の気候の特色について考察している。	63.6	60.2	3.4
3	短答	◎			◎			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について理解している。	88.0	86.9	1.1
4	選択		◎	◎	◎			日本の人口や産業について、複数の資料をもとに判断している。	65.7	65.5	0.2
5	選択	◎			◎		日本の諸地域	九州地方、近畿地方、中部地方の地形について理解している。	80.8	77.4	3.4
6	選択		◎		◎			日本の各地方の産業について考察している。	32.9	35.7	-2.8
7	短答	◎			◎			日本の過疎問題の解決に向けた取り組みについて理解している。	68.0	66.5	1.5
8	記述		◎	◎	◎			日本の交通と産業の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	58.3	59.5	-1.2

9	選択	◎	◎	◎		地域調査の手法	八方位の理解をもとに、地形図を読み取っている。	73.1	80.1	-7.0
10	短答	◎			◎		縮尺について理解している。	44.9	41.6	3.3
11	選択	◎			◎		地形図を読み取っている。	82.2	82.0	0.2
12	選択		◎	◎	◎		地形図から読み取れる地形の特色について、資料をもとに考察している。	59.8	61.8	-2.0
13	選択	◎				◎	鉄砲の伝来について理解している。	85.1	85.8	-0.7
14	選択	◎				◎	宗教改革について理解している。	46.0	47.5	-1.5
15	選択		◎	◎		◎	織田信長・豊臣秀吉の統一事業の共通点について、資料に着目して考察している。	53.3	55.2	-1.9
16	選択	◎				◎	桃山文化について理解している。	62.1	58.5	3.6
17	短答	◎				◎	江戸時代を代表する文化について理解している。	29.8	41.0	-11.2
18	選択	◎				◎	三都の繁栄について理解している。	70.2	66.9	3.3
19	選択	◎				◎	アイヌの人々との交易について理解している。	53.9	56.7	-2.8
20	短答	◎				◎	工場制手工業について理解している。	13.6	19.3	-5.7
21	選択		◎	◎		◎	開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	44.2	45.8	-1.6
22	選択	◎				◎	明治政府の諸改革について理解している。	51.0	56.3	-5.3
23	選択		◎			◎	樺太・千島交換条約に関して、当時確定した国境を資料をもとに判断している。	56.4	55.5	0.9
24	選択	◎				◎	西南戦争が起こった背景について理解している。	43.8	49.9	-6.1
25	選択	◎				◎	立憲制国家の仕組みについて、資料を読み取っている。	49.0	48.3	0.7
26	短答		◎	◎	◎		日本の産業についての理解をもとに、日本の交通の特色について、複数の資料をもとに考察している。	17.8	18.9	-1.1

27	記述	◎◎◎	日本の諸地域	関東地方の人口と通勤の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	8.3	11.5	-3.2
28	選択	◎◎◎		日本の各地方の産業等について、資料をもとに考察している。	20.1	20.3	-0.2

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(地)地理 (歴)歴史

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
2	63.6	60.2	選択	3.4
問題の内容	日本の地域的特色と地域区分			
出題のねらい	日本の気候の特色について考察している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
16	62.1	58.5	選択	3.6
問題の内容	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
出題のねらい	桃山文化について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	70.2	66.9	選択	3.3
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	三都の繁栄について理解している。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
17	29.8	41.0	短答	-11.2
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	江戸時代を代表する文化について理解している。			
授業改善の手立て	文化に関する人物や作品等の伝達ではなく、「産業の発達と文化の担い手の変化」などに着目して課題(問い)を設定し、個々の生徒が、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴などを考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、町人文化が大阪・京都・江戸などの都市を舞台に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことへの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
24	43.8	49.9	選択	-6.1
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	西南戦争が起こった背景について理解している。			
授業改善の手立て	歴史的事象や関連する語句の伝達ではなく、「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題を設定し、個々の生徒が、明治政府の諸改革の背景や、明治政府の諸改革が、政治や文化、人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことへの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
27	8.3	11.5	記述	-3.2
問題の内容	日本の諸地域			
出題のねらい	関東地方の人口と通勤の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。			
授業改善の手立て	地理的事象や関連する語句の伝達ではなく、人口や都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それを個々の生徒が、地形や気候、そこで暮らす人々の生活・文化、都市が発展した歴史的背景、産業、交通・通信網などと関連付けて、複数の資料を多面的・多角的に調べ、考察し、その地域の地域的特色や地域の課題の理解を目指すという展開が考えられる。			

令和5年度 教育課程実施状況調査結果の分析 中学校第3学年・理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
556人	32問	47.4	48.6	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	エネルギー	42.1	44.9	-2.8
	粒子	54.7	53.7	1.0
	生命	56.3	57.2	-0.9
	地球	34.6	37.0	-2.4
観点	知識・技能	55.5	56.1	-0.6
	思考・判断・表現	38.2	40.0	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	41.6	42.9	-1.3
解答形式	選択式	50.1	50.6	-0.5
	短答式	45.1	47.3	-2.2
	記述式	33.1	36.8	-3.7

設問別正答率													
通し番号	解答形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	
		知	思	態	エネルギー	粒子	生命						地球
1	選択	◎		◎		◎			物質の成り立ち	酸化銀を加熱する実験を終えて、ガスバーナーの火を消す際の注意点を理解している。	56.3	54.5	1.8
2	選択	◎				◎		金属の性質を理解している。		62.9	60.6	2.3	
3	短答	◎				◎		酸化銀を加熱すると、酸素が発生することを理解している。		41.0	36.3	4.7	
4	短答	◎				◎		化学変化	酸化について理解している。	79.3	80.1	-0.8	
5	選択		◎			◎		化学変化と物質の質量	銅と酸化銅の質量の関係を指摘できる。	46.6	46.9	-0.3	

6	短答	◎							◎	生物と細胞	細胞の核について理解している。	79.0	81.5	-2.5
7	選択		◎						◎		植物の細胞を正しく選んでいる人を指摘できる。	53.2	53.4	-0.2
8	選択		◎						◎	動物のからだのつくりとはたらき	腹式呼吸のしくみを推測できる。	50.7	49.6	1.1
9	選択	◎							◎		赤血球について理解している。	85.4	86.1	-0.7
10	選択		◎						◎	動物のからだのつくりとはたらき	アキレスけんを切ったときの足の状態を推測できる。	41.5	42.0	-0.5
11	選択	◎							◎		耳が受け取った刺激による反応が起こるとき の信号の伝わり方を理解している。	76.4	74.5	1.9
12	短答		◎						◎	気象の観測	気温と飽和水蒸気量の表から、空気中に ふくまれる水蒸気量を推測できる。	20.9	23.8	-2.9
13	記述		◎	◎					◎		空気中にふくまれる水蒸気量が同じとき に湿度が高くなる理由を説明できる。	23.4	30.7	-7.3
14	選択	◎							◎		気圧と圧力、質量と重力の関係を理解し ている。	15.5	16.8	-1.3
15	選択		◎						◎		単位に注意して、圧力を求める式を立て ることができる。	36.5	38.6	-2.1
16	選択	◎							◎	前線の通過と天気の変 化	温帯低気圧が伴う前線と、寒冷前線と温 暖前線の進み方のちがいについて理解 している。	42.6	46.5	-3.9
17	選択	◎							◎		寒冷前線のようすを理解している。	48.4	51.0	-2.6
18	選択	◎							◎	日本の気象	天気図記号を正しく読み取ることができ る。	41.4	39.9	1.5
19	選択		◎	◎					◎		雲画像から、そのときの天気図を推測で きる。	48.4	48.4	0.0
20	短答	◎			◎					電流の性質	抵抗の大きさがわかっている電熱線に電 圧を加えたときの電流の大きさの求め方 を理解している。	38.1	44.0	-5.9
21	短答		◎		◎						電熱線のつなぎ方と抵抗の大きさの關係 と、電圧・電流の關係を表したグラフの傾 きについて指摘できる。	17.3	20.0	-2.7
22	短答		◎		◎						消費した電力量を求める式のまちがって いる部分を指摘できる。	45.3	51.8	-6.5
23	選択	◎			◎					電流と磁界	電磁誘導について理解している。	54.3	49.0	5.3
24	選択		◎		◎						磁石の向きや動きと誘導電流の流れる 向きの關係から、発光ダイオードが点灯 する条件を推測できる。	27.7	27.7	0.0

25	選択	◎		◎					電流の正体	電子や静電気について理解している。	70.1	72.4	-2.3
26	短答	◎		◎						放電について理解している。	41.7	49.4	-7.7
27	短答		◎		◎				化学変化と物質の質量	化学反応式から発生した気体を判断し、化学変化前後の質量の変化について推測できる。	27.0	30.0	-3.0
28	短答	◎			◎				化学変化	吸熱反応について理解している。	70.0	65.1	4.9
29	選択		◎		◎				化学変化と物質の質量	化学変化で反応する物質の質量の割合が決まっていることを指摘できる。	54.3	56.2	-1.9
30	選択	◎					◎		植物のからだのつくりと はたらき	双子葉類の茎の断面の維管束の並び方と道管について理解している。	40.3	46.5	-6.2
31	記述		◎	◎			◎			蒸散のはたらきを説明できる。	42.8	42.9	-0.1
32	短答		◎	◎			◎			単位面積あたりの蒸散量を求め、比較することができる。	37.1	38.0	-0.9

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(エネルギー)エネルギー (粒子)粒子 (生命)生命 (地球)地球

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
3	41.0	36.3	短答	4.7
問題の内容	物質の成り立ち			
出題のねらい	酸化銀を加熱すると、酸素が発生することを理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	54.3	49.0	選択	5.3
問題の内容	電流と磁界			
出題のねらい	電磁誘導について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
28	70.0	65.1	短答	4.9
問題の内容	化学変化			
出題のねらい	吸熱反応について理解している。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
13	23.4	30.7	記述	-7.3
問題の内容	気象の観測			
出題のねらい	空気中にふくまれる水蒸気量が同じときに湿度が高くなる理由を説明できる。			
授業改善の手立て	湿度についての知識・技能を習得することを目的とせず、雲や霧と湿度の関係や洗濯指数と湿度の関係など、それぞれが調べたことを共有し理解を深めたり、図やモデルを活用しながらプレゼンテーションしたりすることで、生徒を主語にした授業展開にすることが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
14	15.5	16.8	選択	-1.3
問題の内容	気象の観測			
出題のねらい	気圧と圧力、質量と重力の関係を理解している。			
授業改善の手立て	圧力や気圧の定義を理解したり、計算方法を習得したりするだけでなく、天気予報で使用される数値や単位との関係を調べたり話し合ったりすることで、探究の過程を進める展開が考えられる。他者との対話を通して、自分の考えを修正したり、より確かなものにできるほか、知識や技能を活用する機会をつくることができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
22	45.3	51.8	短答	-6.5
問題の内容	電流の性質			
出題のねらい	消費した電力量を求める式のまちがっている部分を指摘できる。			
授業改善の手立て	電力量の定義や関係式を覚えることを目的とせず、量的・関係的な視点で捉え、電気エネルギーの量が何により変化するのか探究する展開を考える。また、探究の過程において結果が予想と異なったときに、結果の意味を振り返り、検討し、探究の過程の見通しをもつことができるようにする。			